

代 議 員 会
報 告

総 会
報 告

## 平成20年度 社団法人日本眼科医会会務報告

平成20年4月1日～平成21年3月31日

### 会 務

#### I. 会 員 数

13,549名 (3月末現在)

A会員 6,084名 B会員 7,007名 C会員 458名

#### II. 会 議 (打ち合わせ含む)

##### 1. 総会および代議員会

###### 1) 総会

定例総会 4/6, 6/22 .....(2回)

###### 2) 代議員会

定例代議員会 4/5 - 6, 6/21 - 22 .....(2回)

代議員会総務・経理合同常任委員会 1/18 .....(1回)

代議員会運営常任委員会 4/5, 6/21 .....(2回)

代議員会経理常任委員会 4/27 .....(1回)

代議員会運営に関する打合せ会 9/6 .....(1回)

##### 2. 常任理事会および理事会

###### 1) 常任理事会

常任理事会 4/12, 5/10, 6/7, 7/5, 8/2, 9/6, 10/4, 11/8, 12/13, 1/10, 2/7, 3/14 .....(12回)

###### 2) 理事会

理事会 4/12, 5/10, 8/2, 9/6, 12/13, 1/10, 2/7 .....(7回)

臨時理事会 4/5 .....(1回)

##### 3. その他の会議

###### 1) 支部

全国支部長会議 9/7 .....(1回)

###### 2) 監事会・顧問会

監事会 4/12 .....(1回)

#### 4. 関係省庁・団体（委員会出席・懇談）

##### 1) 厚生労働省

- （公衆衛生部関係の訪問） 8/7, 9/18 .....(2回)
- （社会保険部関係の訪問） 9/24,2/25 .....(2回)
- （医療対策部関係の訪問） 4/24,7/24,10/3.....(3回)

##### 2) 文部科学省

- （学校保健部関係の懇談） 5/14, 7/31, 9/25 .....(3回)

##### 3) 日本医師会

- 日本医師会新執行部披露パーティー 6/10.....(1回)
- 日本医師会懇談 7/30.....(1回)
- 日本医師会全国学校保健・学校医大会 11/8.....(1回)
- 日本医師会学校医講習会 2/21 .....(1回)
- 日本医師会学校保健委員会 8/20, 10/3, 12/3, 2/20 .....(4回)
- 指定都市学校保健協議会 5/17 .....(1回)
- 指定都市学校保健協議会・眼科学校医懇談会 5/17 .....(1回)
- 社会保険診療報酬検討委員会 7/23,9/17,11/26,1/28,3/25 .....(5回)
- 有床診療所に関する検討委員会 8/1,10/15,12/12,2/4 .....(4回)

##### 4) 東京都医師会

- 東京都医師会年末懇親会 12/12 .....(1回)

##### 5) 日本学校保健会

- 日本学校保健会理事会 5/28, 10/31 .....(2回)
- 日本学校保健会評議員会 5/30 .....(1回)
- 健康教育推進学校表彰式及び(財)日本学校保健会事業報告会 2/18.....(1回)
- 日本学校保健会色覚バリアフリー検討委員会 11/19, 12/18 .....(2回)
- 日本学校保健会との打合せ会 4/5 .....(1回)

##### 6) 日本失明予防協会

- 日本失明予防協会理事会 6/21,3/18 .....(2回)
- 日本失明予防協会評議員会 6/21 .....(1回)

##### 7) 日本アイバンク協会

- 日本アイバンク協会常務理事会 6/6,2/6.....(2回)
- 「今泉賞」審査委員会 1/16 .....(1回)

##### 8) 日本眼科学会

- 日本眼科学会理事会 4/16,10/22 .....(2回)
- 日本眼科学会との懇談会 9/5 .....(1回)

- 眼科研修プログラム承認審査委員会 4/17.....(1回)
- 日本眼科学会戦略企画会議 3/13-15.....(1回)
- 日本眼科学会戦略企画会議第一委員会(眼科医トレーニング) 4/20,7/25,10/26.....(3回)
- 日本眼科学会戦略企画会議第五委員会(外的関係) value-based medicineワーキンググループ  
8/22,10/26.....(2回)
- 社会保険委員会 4/5,7/12,11/22,2/7.....(4回)
- 日本眼科学会用語委員会ICD-11作業部会 10/24,1/25.....(2回)
- 9) 日本眼科学会専門医制度
- 眼科専門医制度委員会 6/15,9/6,1/25.....(3回)
- 眼科専門医認定試験 6/13-14.....(1回)
- 眼科専門医制度卒後研修委員会 7/27.....(1回)
- 眼科専門医制度試験委員会 10/31-11/1,12/12-13.....(2回)
- 眼科専門医制度生涯教育委員会教材小委員会 10/11.....(1回)
- 眼科専門医制度資格認定委員会 4/11,8/29.....(2回)
- 眼科専門医制度資格認定委員会指導医認定小委員会 12/11.....(1回)
- 10) その他
- 日本医用光学機器工業会懇親会 5/28.....(1回)
- 日本臨床分科医会代表者会議 7/3.....(1回)
- 日本眼鏡学会との面談 7/12.....(1回)
- 日本医用光学機器工業会との面談 12/3.....(1回)
- 日本台湾眼科ジョイントミーティング 外国医師招聘講演会 1/22.....(1回)
- 外科系学会社会保険委員会連合(外保連)・総会 11/12,1/28.....(2回)
- 外保連手術委員会 6/9,3/2.....(2回)
- 外保連手術委員会講演会 9/22.....(1回)
- 外保連処置委員会 9/18,2/5.....(2回)
- 外保連検査委員会 9/18,2/5.....(2回)
- 外保連実務委員会 4/16,7/24,1/15,3/16.....(4回)

## 5. 総務部管理

### 1) 会長・副会長関連

- 会長・副会長会議 4/12,5/10,6/7,7/5,8/2,9/6,10/4,11/8,12/13,1/10,2/7,3/14.....(12回)
- テレビ電話会議 4/9,5/7,6/4,7/2,7/30,9/3,10/1,11/5,12/10,1/7,2/4,3/11.....(12回)
- ブロック訪問 8/30(東北),9/13(九州),9/20(北海道),3/1(中国四国),3/7(東京),3/15(東海北陸)  
.....(6回)

- 2) 部会・委員会
- 総務・経理部会 6/7,11/1,11/22 .....(3回)
- ブロック代表質問打合せ会 6/12, 3/26 .....(2回)
- 表彰選考委員会 5/10,10/4.....(2回)
- 会員資格検討委員会 2/7 .....(1回)
- 会務効率化委員会 5/10,11/8.....(2回)
6. 総務部企画
- 1) 部会・委員会
- 眼科医療研究会議 3/22 .....(1回)
- 眼科医事紛争対策委員会 8/20 .....(1回)
- 眼科女性医師活性化委員会 5/18,12/21.....(2回)
- 日本眼科学会戦略企画会議(第一・第六)・日本眼科医会 女性医師支援合同会議 10/26.....(1回)
- 倫理に関する検討委員会 11/24,2/11 .....(2回)
- 新公益法人制度検討委員会 1/10 .....(1回)
- 新公益法人制度検討委員会コアメンバー勉強会 9/11 .....(1回)
- 新公益法人制度検討委員会コアメンバー作業部会 1/29,2/11,2/14,2/27 .....(4回)
- 80周年記念事業実行委員会 11/1 .....(1回)
- 2) その他
- 女子医学生・眼科研修医等と先輩女性眼科医師との懇談会 2/28.....(1回)
- 公益法人制度改革特別セミナー 5/29 .....(1回)
- 内閣府公益認定等委員会事務局企画調整官面談 1/29 .....(1回)
- 新公益法人関連税制に関する税理士との打合せ 2/27 .....(1回)
7. 経理部
- 1) 部会・委員会
- 総務・経理部会 6/7,11/1, 11/22 .....(3回)
- 会計顧問との打合せ 12/20.....(1回)
8. 公衆衛生部
- 1) 部会・委員会
- 公衆衛生委員会 7/6 .....(1回)
- 公衆衛生部会 7/5 .....(1回)
- 「目の110番」運営委員会 12/4,2/26.....(2回)

身体障害認定基準に関する委員会	3/5	.....	(1回)
日本眼科啓発会議	7/6	.....	(1回)
日本眼科啓発会議第1分科会	5/31,6/15,11/16	.....	(3回)
日本眼科啓発会議第2分科会	4/12,8/22,9/6,10/26	.....	(4回)
日本眼科啓発会議3団体との打合せ	7/11,3/6	.....	(2回)
日本眼科啓発会議コンペ	4/12	.....	(1回)
日本眼科啓発会議コンペ打合せ	4/12	.....	(1回)
眼科啓発用ポスターの打合せ	1/10	.....	(1回)
「目の健康.jp」ウェブサイトの打合せ	4/10,5/15,6/26,7/24,8/7,8/28,9/25, 11/27,1/22,3/12	.....	(10回)
「目の健康.jp」事業検討小委員会	6/7, 7/31, 9/6, 2/7	.....	(4回)
スペシャルオリンピックス事務局との面談	6/13	.....	(1回)
株三和化学研究所との面談	12/11	.....	(1回)

## 2) 啓発活動

「目の110番」電話対応	(4/1～3/31の年末年始・祝日を除く毎週木曜日)	.....	(51回)
目の健康講座	6/8(広島), 7/6(富山), 7/26(東京), 7/27(鹿児島), 8/10(福島), 8/23(福岡), 9/28(北海道・山口), 10/4(宮崎), 10/5(栃木), 10/26(熊本), 11/15(北海道),2/8(京都)	.....	(13回)

## 9. 広報部

### 1) 部会・委員会

広報部会	6/21	.....	(1回)
「日本の眼科」編集委員会	4/10, 5/8, 6/12, 7/10, 8/7, 9/11, 10/9, 11/13, 12/6, 1/8, 2/12, 3/12	.....	(12回)

### 2) 記者発表会

記者発表会実務担当打合せ	3/18, 5/22, 6/22, 7/26, 8/7	.....	(5回)
記者発表会	9/18	.....	(1回)
記者発表会報告事務打合せ	2/28	.....	(1回)

### 3) その他

日眼医通信に関する打合せ	4/12	.....	(1回)
ホームページ制作業者選定コンペ	9/27	.....	(1回)

## 10. 学校保健部

### 1) 部会・委員会

学校保健部会	6/22, 9/6, 1/10	.....	(3回)
「学校現場におけるCL実態調査」に関する打合せ	10/2	.....	(1回)

- 2) 全国会議  
 全国眼科学学校医連絡協議会 8/3..... (1回)

11. 学術部

1) 部会・委員会

- 学術委員会 5/24, 11/15..... (2回)  
 眼科コメディカル委員会 6/7, 11/1 ..... (2回)  
 第31回眼科コメディカル試験問題選定小委員会 1/18..... (1回)

2) 学術講習会

- 生涯教育講座 7/12 - 13, 2/14-15 ..... (2回)

3) 日本眼科学会総会・日本臨床眼科学会関連

- 第112回日眼総会教育セミナー 4/20 ..... (1回)  
 第62回臨眼シンポジウム事前打合せ会 10/23..... (1回)  
 第62回臨眼イブニングセミナー 10/24..... (1回)  
 第62回臨眼シンポジウム 10/24,10/25..... (2回)  
 第62回臨眼病医院運営プログラム 10/25..... (1回)  
 第62回臨眼インストラクションコース 10/23..... (1回)  
 第62回臨眼フェアウェルセミナー 10/26..... (1回)  
 日本眼科学会総集会プログラム委員会全体会議 4/20, 10/26..... (2回)  
 日本眼科学会総集会プログラム委員会インストラクションコース小委員会 6/21 ..... (1回)

4) その他

- 第30回眼科コメディカル試験 5/17..... (1回)  
 日本視能訓練士協会との打合せ 8/2..... (1回)  
 日本医用光学機器工業会 JIS原案作成委員会 9/12 ..... (1回)  
 日本眼科医会・日本視能訓練士協会懇談会 3/7 ..... (1回)

12. 社会保険部

1) 部会・委員会

- 社会保険部会 4/12,8/2,12/13,2/7 ..... (4回)  
 臨時社会保険部会 9/6,1/10..... (2回)  
 社会保険部打合せ会 4/6,5/10,10/4 ..... (3回)  
 社会保険部緊急打合せ会 6/1,7/13..... (2回)  
 社会保険委員会 5/11,10/5 ..... (2回)  
 眼科有床診療所検討委員会 7/13..... (1回)

- 2) 全国会議  
 全国審査委員連絡協議会 6/1 ..... (1回)  
 各支部健保担当理事連絡会 11/2 ..... (1回)
- 3) 日本眼科社会保険会議  
 日本眼科社会保険会議 4/5,4/12,7/12,11/22,2/7 ..... (5回)  
 企画戦略分科会(第四) 4/5,2/7 ..... (2回)  
 眼科手術診療報酬検討委員会(第五) 8/2,9/6,2/7 ..... (3回)  
 屈折矯正に関するWG 4/20 ..... (1回)
- 4) 日本眼科学会総会・日本臨床眼科学会・日本眼科手術学会総会関連  
 第112回日本眼科学会総会シンポジウム 4/19 ..... (1回)  
 第62回日本臨床眼科学会シンポジウム 10/26 ..... (1回)  
 第62回日本臨床眼科学会インストラクションコース 10/24 ..... (1回)  
 第32回日本眼科手術学会シンポジウム 1/24 ..... (1回)  
 第28回日本脳神経外科コングレ総会 5/10 ..... (1回)
13. 医療対策部
- 1) 部会・委員会  
 医療対策部会 6/8,11/16 ..... (2回)  
 医療対策委員会 6/8, 11/16 ..... (2回)  
 コンタクトレンズブランドビュー会議 10/26 ..... (1回)
- 2) 協議会  
 日本コンタクトレンズ協議会理事会 7/17, 1/17 ..... (2回)  
 眼科用剤協議会理事会 1/29 ..... (1回)  
 眼科医療機器協議会理事会 2/26 ..... (1回)
- 3) その他  
 医療機器センター「平成20年度コンタクトレンズ販売営業管理者講習会に係る運営委員会」 7/17  
 ..... (1回)  
 医療機器センター コンタクトレンズ販売管理者講習会 6/19, 7/3 ..... (2回)  
 医療機器・販売業等の管理者に対する継続的研修 10/26 ..... (1回)  
 日本コンタクトレンズ協会 第1回コンタクトレンズ基準委員会 10/3 ..... (1回)  
 旧法許可品から新法クラスに移行した所謂クラスアップ品に認定基準(案)に関する認定基準委員  
 会 10/25 ..... (1回)  
 東海北陸厚生局訪問 11/13,1/13 ..... (2回)  
 厚生労働省科学研究班(ネット販売のあり方アドバイザー会議) 1/17, 2/12,3/19 ..... (3回)

#### 14. 勤務医部

##### 1) 部会・委員会

勤務医委員会 4/26, 9/21, 2/8 ..... (3回)

##### 2) 全国会議

全国勤務医連絡協議会 11/8 ..... (1回)

##### 3) その他

「日本の眼科」「勤務医の頁」特別企画座談会 5/17 ..... (1回)

#### III. 講演・学会など

##### 1. 学術講演

##### 1) 文部科学省

子どもの健康を守る地域専門家総合連携事業、全国連絡協議会 1/19 ..... (1回)

##### 2) 都道府県眼科医会等

三重県眼科総会及び集談会 4/13 ..... (1回)

湘西眼科臨床フォーラム 3/5 ..... (1回)

九州ブロック学校保健・学校医大会 8/10 ..... (1回)

岩手県眼科臨床懇話会 8/23 ..... (1回)

東京都眼科医会学校保健学術講演会 2/5 ..... (1回)

医療機器・販売業等の管理者に対する継続的研修 11/9 (福岡) ..... (1回)

医療機器・販売業等の管理者に対する継続的研修 11/9 (新潟) ..... (1回)

#### IV. その他

##### 1. 慶弔

##### 1) 祝賀会等

関東甲信越眼科学会 5/31 ..... (1回)

日本眼科医療機器協会30周年記念祝賀会 9/3 ..... (1回)

東京都眼科医会 忘年会 12/6 ..... (1回)

日本コンタクトレンズ協会一般社団法人設立記念講演会・懇親会 3/18 ..... (1回)

##### 2) 弔事

井上 治郎先生 お別れの会 6/27 ..... (1回)

北原 健二先生を偲ぶ会 12/14 ..... (1回)

田野 保雄先生 お通夜 2/4 ..... (1回)

田野 保雄先生 お別れの会 3/8 ..... (1回)

# 平成 20 年度 社団法人日本眼科医会事業報告

## 1. 総務部管理

- 1) 渉外活動の強化  
関係官庁、関係団体(日本医師会、日本眼科学会等)と折衝した。
- 2) 支部との連携強化
  - (1) 全国支部長会議を開催した。
  - (2) 各ブロックを訪問し、諸問題を検討した。
- 3) 調査活動の推進
  - (1) 各部において行う調査を調整し、実施に協力した。
  - (2) 国内外の医療情報を収集した。
- 4) 会員の福祉対策とその検討
  - (1) 病気・ケガ療養補償プランへの加入を推進した。(3月末現在 359 名加入)
  - (2) 長期疾病傷害休業補償制度への加入を推進した。(3月末現在 165 名加入)
  - (3) 福祉年金制度(年金払積立傷害保険：損保商品、生保商品)の加入を推進した。(3月末現在 損保 133 名 生保 56 名加入)
- 5) 諸規程の整備
  - (1) 代議員定数について検討した。
  - (2) 代議員会での一人代議員支部の傍聴を検討し、次年度より実施されることが決定した。
  - (3) 表彰選考委員会を開催し、表彰選考基準を改正した。
  - (4) 会員資格検討委員会を開催し、会員資格の問題について検討した。
- 6) 会務の効率化  
会務効率化委員会を開催し、会務の効率化を図った。
- 7) 医療情報の管理  
収集した医療情報の管理を行った。
- 8) 会議の運営
  - (1) 総会および代議員会を開催した。
  - (2) 常任理事会および理事会を開催した。
  - (3) 監事会、会長・副会長会議等を開催した。

## 2. 総務部企画

- 1) 眼科医療活動の推進
  - (1) 国際失明予防機構 (IAPB)、日本失明予防協会、日本アイバンク協会に協力した。
  - (2) 日本台湾眼科ジョイントミーティングによる外国医師招聘講演会への出席等を通じて国際交流事業を推進した。
  - (3) 国際協力事業助成要綱に従い、諸外国へ眼科医療援助を実施している団体への助成を行った。また、近隣諸国の眼科医の招聘を行う団体等に助成する事業について検討し、ラオス若手医師の日本への短期留学費用を助成した。さらに、助成事業の一層の促進を

図るため、助成要綱を改訂した。

- 2) 眼科医療の諸問題の検討
  - (1) 眼科医療研究会議を開催した。
  - (2) 研究班活動として引き続き「眼科医療における社会的貢献度の評価」を行い、論文にまとめて英文雑誌に投稿した。また、日本語版報告書の刊行作業に着手した。
  - (3) 平成 21 年度から開始予定の次期研究班活動のテーマを検討し、「屈折矯正と眼鏡技術者の公的資格化に関連する諸問題」に決定した。また、同研究班の班員構成を決定した。
- 3) 医事紛争の調査と防止対策の検討
  - (1) 眼科医事紛争事例調査を継続実施した。
  - (2) 眼科医事紛争対策委員会を開催した。
- 4) 眼鏡等の医療費控除に関する啓発  
治療用眼鏡の医療費控除に関する記事を「日本の眼科」第 80 巻第 2 号に掲載した。
- 5) 男女共同参画への推進
  - (1) 眼科女性医師活性化委員会を開催し、眼科女性医師の諸問題について勤務医部と協力して検討した。
  - (2) 「日本の眼科」第 79 巻第 4 号～第 80 巻第 3 号に「眼科女性医師活性化委員会の頁」を掲載した。
  - (3) 日本医師会との共催事業「女子医学生・眼科研修医等と先輩女性眼科医師との懇談会」を開催した。
  - (4) 日本眼科学会戦略企画会議と合同で女性医師支援会議を立ち上げ、眼科女性医師に関わる諸問題を検討した。
  - (5) 本会会議に出席する女性医師の環境整備として保育料の一部を補助する制度について、「日本の眼科」第 79 巻第 7 号で告知を行った。
- 6) 会員の倫理の検討  
倫理に関する検討委員会を開催し、本会における倫理のあり方についての答申を作成した。
- 7) 80 周年記念事業について  
80 周年記念事業実行委員会を立ち上げ、70 周年と同様に記念式典開催、記念誌発行を実施することを決定した。
- 8) 公益法人制度改革について
  - (1) 新公益法人制度検討委員会を開催し、公益社団法人への移行認定を目指すという日本眼科医会としての基本方針を決定した。
  - (2) 新公益法人制度検討委員会コアメンバー作業部会を開催し、申請書類の作成準備や定款等の改訂案の作成作業に着手した。

### 3. 経 理 部

- 1) 経理の合理的運用
  - (1) 本会の事業および会務の運営のため、透明性の高い健全かつ合理的な経理の運用を図った。
  - (2) 本会の旅費規程の見直しを行った。

#### 4. 公衆衛生部

##### 1) 眼科健診事業の推進

- (1) 公衆衛生委員会等にて検討した。
- (2) 厚生労働省へ説明に訪れた。
- (3) 眼科医過疎地域健診を支部と共同開催した。

##### 2) 眼科公衆衛生知識の啓発

- (1) 「目の愛護デー」行事を推進するため、スローガンを決定しポスターを製作、全会員および公共施設等に広く配布した。

さらに、各眼科医会における「目の愛護デー」行事予定を調査し、記者発表会時に配布し、行事報告を「日本の眼科」79巻12号に掲載した。

- (2) 国民の目の健康対策に努めるため、「目の健康講座」を支部と共同開催した。

広島県(6月8日)、テーマ「糖尿病と眼の病気」、「ドライアイと角膜疾患」来場者165名

富山県(7月6日)、テーマ「中高年からの、知っておきたい目の病気」来場者414名  
東京都(7月26日)、テーマ「症状からみた目の加齢疾患 白内障、緑内障、網膜症とその対策」来場者362名

鹿児島県(7月27日)、テーマ「40歳からの目の健康 ～見えると思って安心していませんか～」来場者190名

福島県(8月10日)、テーマ「目と加齢」「視覚の大切さと糖尿病網膜症」「ドライアイ」来場者412名

福岡県(8月23日)、テーマ「黄斑疾患 中心が見えない」「目の窓・角膜の病気について」来場者264名

北海道(9月28日)、テーマ「眼科健診はなぜ大切か」「白内障の治療について」来場者190名

山口県(9月28日)、テーマ「ドライアイ」「緑内障」来場者161名

宮崎県(10月4日)、テーマ「知らないと怖い糖尿病により起こるさまざまな眼の病気」来場者135名

栃木県(10月5日)、テーマ「明日の視力を守るために」1.乳児の視機能の発達とその異常 2.視覚の大切さと糖尿病網膜症 3.ドライアイ 来場者149名

熊本県(10月26日)、テーマ「高齢者の目の病気」白内障 遠近両用眼内レンズを用いた手術 緑内障で失明しないために 最近増えている加齢黄斑変性症 その症状と治療 来場者300名

北海道(11月15日)、テーマ「眼科健診はなぜ大切か」、「アレルギー性結膜炎について」来場者50名

京都府(2月8日)、テーマ「緑内障にご用心」、「中高年の網膜の病気」、「信は力なり」来場者670名

- (3) 「目の健康講座」の参加者に対し健康相談を行った。
- (4) 各地の公衆衛生活動について「日本の眼科」80巻1号に掲載した。

- (5) 緑内障患者への啓発のため、緑内障手帳を作成し、点眼薬処方患者への啓発のため、点眼薬の正しい使い方に関する小冊子の監修を行なった。また、糖尿病眼患者への啓発のため、糖尿病眼手帳の普及に努めた。
  - (6) 日本眼科学会とともに立ち上げた日本眼科啓発会議を通じ、国民への啓発活動を行った。
  - (7) コンタクトレンズ装用者への啓発のためのウェブサイト「目の健康・j p」内容の充実に努めた。
  - (8) 国民向け電話相談事業「目の110番」を継続して本部で実施した。また、委員会を開催し諸問題について検討した。なお、次年度より転送電話も加え「目の電話相談」として継続、発展させる。
- 3) 障害者対策
    - (1) 社会適応訓練講習会助成要綱に従い、日本ライトハウス、愛知視覚障害者援護促進協議会、全国ベーチェット協会、北海道眼科医会、東京都眼科医会、三重県眼科医会、大阪府眼科医会、広島県眼科医会、兵庫県ロービジョン研究会、神奈川ロービジョンネットワーク、岡山県視覚障害を考える会の11団体に助成した。
    - (2) ホームページで公開しているロービジョンケア施設リストを逐次更新した。
    - (3) スペシャルオリンピックス東海地区ブロック競技会に協力した。
    - (4) NPO法人タートルに協力した。
    - (5) NPO法人網膜変性研究基金に協力した。
  - 4) 高齢者医療・福祉・介護保険対策  
公衆衛生委員会等にて検討した。
  - 5) 眼感染症対策  
公衆衛生委員会等にて検討した。
  - 6) 難病疾患対策  
日本網膜色素変性症協会に協力した。
  - 7) 生活・就業環境問題対策  
VDT症候群について、公衆衛生委員会にて検討した。
  - 8) 救急医療対策  
公衆衛生委員会等にて検討した。
  - 9) 公衆衛生委員会の開催  
公衆衛生委員会を開催し、各地域での問題点等を検討した。
  - 10) 身体障害認定基準に関する委員会の開催  
身体障害認定基準に関する委員会を開催し、諸問題を検討した。

## 5. 広報部

- 1) 広報活動の実施
  - (1) 記者発表会を開催し、「ドライアイは病気です。本当は様々なタイプが存在～自己判断で重症化、治療は専門医で～」について発表した。
  - (2) 患者用パンフレット「目と健康」シリーズを監修し、No.42「パソコンと目」を発行し、

No.43「目の定期検査のすすめ」(仮題)、No.44「子どもの目の外傷」(仮題)を企画した。

(3) ホームページを運営した。

毎月更新を行い、情報を提供した。

平成 21 年 4 月 1 日のリニューアルに向けて準備作業を行った。

(4) 会員向けメールマガジン「日眼医通信」を発行し、情報を提供した。

(5) マスメディアに随時対応した。

2) 「日本の眼科」の発行

(1) 「日本の眼科」を毎月発行した。(第 79 巻 4 号～第 80 巻 3 号)

(2) 編集委員会を毎月開催した。

(3) 第 80 巻 4 号より「日本の眼科」のサイズを B5 から A4 に変更するよう協議し、決定した。

## 6. 学校保健部

1) 関連団体との連携強化

(1) 文部科学省

プール後の洗眼とゴーグル使用についての情報を提供した。

幼稚園や就学時健診における眼科学校保健のアンケートおよび平成 21 年度実施予定の「学校現場における CL 実態調査」について、事前に報告し助言を得た。

平成 20 年度子どもの健康を守る地域専門家総合連携事業、全国連絡協議会において、「プール後の洗眼、色覚バリアフリー」について講演した。

(2) 日本医師会

全国学校保健・学校医大会、学校医講習会、学校保健委員会に出席した。

(3) 日本学校保健会

理事会、評議員会、健康教育推進学校表彰式及び(財)日本学校保健会事業報告会に出席した。また学校保健の動向(平成 20 年度版)を分担執筆し、「色覚バリアフリー検討委員会」に参画した。

(4) その他

第 59 回指定都市学校保健協議会・眼科学校医研修会(広島市医師会主催)に出席した。

2) 学校保健の知識の普及と現状の把握

(1) 全国眼科学校医連絡協議会において「学校における眼外傷について:宮浦 徹(日本眼科医会理事)」、「小児の眼外傷について:東 範行(国立成育医療センター眼科医長)」の教育講演を実施した。

(2) 「日本の眼科」に眼科学校保健に関する情報を掲載した。

『学校保健の頁』第 79 巻 4 号～第 80 巻 3 号に支部の実情など、情報を掲載した。  
学校保健に関する情報を掲載した。

・ 「プール後の洗眼とゴーグル使用についての学校保健部見解」(第 79 巻 10 号)

(3) 第 62 回日本臨床眼科学会のインストラクションコース「これからの学校保健」を企画し、発表した。

(4) 第 62 回日本臨床眼科学会のフェアウェルセミナー「こどもとコンタクトレンズ」を企

画し、発表した。

(5) 幼稚園や就学時健診における眼科学校保健のアンケートを実施した。結果は平成 21 年度に「日本の眼科」で報告することとなった。

(6) 平成 21 年度実施予定の「学校現場における CL 実態調査」の実施方法について検討し、アンケートの一部を修正して実施することとなった。

3) 各種教材などの検討・作成ほか

(1) 会員作成の教材用 CD-ROM の配送システムの充実を図り、情報を本会ホームページおよび「日本の眼科」に掲載し、購入希望会員に頒布した。

(2) 「眼科学校保健イラスト集 Vol.1 と 2」を購入希望会員に頒布した。

(3) 前年度作成の色覚指導に関する冊子「色覚異常を正しく理解するために」について「日本の眼科」誌上に情報を掲載し、購入希望会員に頒布した。

4) 全国眼科学校医連絡協議会の開催

全国眼科学校医連絡協議会を開催し、概要と記録を「日本の眼科」第 80 巻 2 号に掲載した。

## 7. 学 術 部

1) 生涯教育事業の実施

(1) 生涯教育講座を企画し、開催した。

第 56 回講座「眼科画像診断のすべて」を開催した。

(オーガナイザー：岸 章治 7 月 12・13 日 受講者 383 名)

第 57 回講座「角結膜診療のすべて」を開催した。

(オーガナイザー：下村 嘉一 2 月 14・15 日 受講者 330 名)

(2) 各種教材の企画、製作および監修を行った。

生涯教育講座記録ビデオを頒布した。

「眼科の診断と治療シリーズ」5 タイトル、「眼科コメディカルシリーズ」1 タイトルの学術ビデオを制作し、既存のものを含めて貸し出しを行なった。また、2009 年度制作分として 6 タイトルを企画した。

(3) 『日本の眼科』79 巻 4 号から 80 巻 3 号に 眼科医の手引 を掲載した。

(4) 学術委員会を開催した。

2) 日本眼科学会総集会プログラム委員会への参画

(1) 日本眼科学会総集会プログラム委員会に 4 号委員として協力した。

(2) 第 112 回日本眼科学会総会において、教育セミナー「あなたは十分な知識を持っているか？眼科医療のために必要な法知識 専門医制度研修医ガイドラインに沿って」を実施した。

(3) 第 113・114 回日本眼科学会総会の教育セミナーを企画した。

(4) 第 62 回日本臨床眼科学会において、シンポジウム「新技術と倫理 最前線の研究者として、臨床医として」、「眼科医療の地方格差を考える」を実施した。

(5) 第 63・64 回日本臨床眼科学会のシンポジウムを企画した。

3) 専門医制度の推進

(1) 専門医制度委員会に委員として協力した。

- (2) 専門医制度委員会の各専門委員会に出席した。
- 4) 眼科講習会(ブロック講習会)の推進  
各ブロックにおける眼科講習会の開催に協力した。
- 5) 眼科医療従事者教育の推進および関連事業の検討、実施
- (1) 日本視能訓練士協会との懇談会を開催した。
- (2) 視能訓練士の教育に協力した。
- (3) 視能訓練士養成課程卒業予定者を対象としたアンケート調査を実施し、結果を「日本の眼科」第 80 巻第 3 号に掲載した。
- (4) 眼科看護職員の教育を助成し、その育成に努めた。
- 第 62 回日本臨床眼科学会ナースングプログラム、第 47 回日本白内障学会総会・第 23 回日本眼内レンズ屈折手術学会総会ナースングプログラム、第 24 回眼科看護研究会に協力した。
- 第 62 回日本臨床眼科学会において病医院運営プログラム「医療機関における広告・広報を考える」を実施した。また、第 63 回日本臨床眼科学会の病医院運営プログラムを企画した。
- (5) 眼科コメディカル委員会を開催した。
- (6) 眼科コメディカル試験問題選定小委員会を開催した。
- (7) 第 30 回眼科コメディカル試験を実施(受験者 2,487 名)し、第 31 回眼科コメディカル試験を準備した。
- (8) 眼科コメディカル教育のテキスト・教材の内容を検討し、改訂版を作成した。
- 『眼科コメディカルのための眼科学ガイド』改訂第五版を発行した。
- ホームページ上の『眼科コメディカルのための眼科学ガイド』画像集を更新した。
- (9) 各ブロックにおける眼科医療従事者講習会に助成金を交付した。
- 6) 支部学術行事への協力
- 支部における「日本眼科医会生涯教育講座」の開催に協力した。
- 第 55 回講座(名古屋 4 月 26・27 日 受講者 344 名)
- 第 56 回講座(神戸 7 月 19・20 日 受講者 163 名、名古屋 7 月 26・27 日 受講者 253 名、福岡 8 月 23・24 日 受講者 353 名)
- 第 56 回ミニ講座(札幌 11 月 22 日 受講者 92 名)
- 第 57 回講座(神戸 2 月 21・22 日 受講者 188 名、福岡 3 月 7・8 日 受講者 294 名)
- 7) 卒後研修システムへの対応
- 日眼の眼科研修プログラム承認審査委員会に参画し、卒後研修システムづくりに取り組んだ。

## 8 . 社会保険部

- 1) 関連団体との連携緊密化
- (1) 厚生労働省、日本医師会と眼科診療報酬改定後の問題点は正に向けて折衝した。さらに要望書を厚生労働省、日本医師会、外科系学会社会保険委員会連合に提出した。

- (2) 日本医師会社会保険診療報酬検討委員会に出席した。
  - (3) 日本医師会有床診療所に関する検討委員会に出席した。
  - (4) 日本眼科学会社会保険委員会に出席した。
  - (5) 外科系学会社会保険委員会連合総会ならびに各種委員会に出席した。
- 2) 日本眼科社会保険会議の開催
- (1) 日本眼科社会保険会議にて、眼科に関する診療報酬の問題についての意思統一と対外的窓口の一本化を図った。
  - (2) 第 112 回日本眼科学会総会・第 62 回日本臨床眼科学会・第 32 回日本眼科手術学会総会のシンポジウムに参加し、その報告を「日本の眼科」に掲載した。さらに第 113 回日本眼科学会総会・第 63 回日本臨床眼科学会・第 33 回日本眼科手術学会総会のシンポジウムへの参加を検討した。
  - (3) 日本眼科社会保険会議に出席した。
  - (4) 日本眼科社会保険会議各分科会に出席した。
- 3) 全国審査委員連絡協議会の開催
- 平成 20 年度全国審査委員連絡協議会を開催し、概要を「日本の眼科」79 巻 7 号に記録を「日本の眼科」79 巻 8 号に掲載した。
- 4) 各支部健保担当理事連絡会の開催
- 平成 20 年度各支部健保担当理事連絡会を開催し、概要を「日本の眼科」79 巻 12 号に記録を「日本の眼科」80 巻 1 号に掲載した。
- 5) 眼科診療実態調査の実施
- 「平成 20 年度眼科診療実態調査」を実施した。
- 6) 眼科全国レセプト調査の実施・分析・検討
- (1) 「眼科全国レセプト調査」を引き続き実施した。
  - (2) 調査結果の内容を分析・検討した。
- 7) 適正な眼科保険医療の研究、検討と会員への情報提供
- (1) 平成 20 年 4 月 1 日実施の診療報酬改定に当たって、「眼科診療報酬点数表」ならびに「眼科点数早見表（下敷き）」を作成し、会員に配布した。
  - (2) 平成 20 年 4 月 1 日実施の診療報酬改定に関する通知および疑義解釈を各支部に通知し、さらに「日本の眼科」に掲載した。
  - (3) 薬価基準の追補収載について各支部に通知し(4 月 18 日、7 月 4 日、9 月 12 日、12 月 12 日) さらに「日本の眼科」79 巻 5、8、10、80 巻 1、各号に掲載した。
  - (4) 支部からの保険診療に関する各種問い合わせに随時対応した。
  - (5) 社会保険委員会を開催した。
  - (6) 眼科有床診療所検討委員会を開催した。
  - (7) 「眼科有床診療所実態調査」を実施した。
  - (8) 第 62 回日本臨床眼科学会のインストラクションコース「レセプト提出のノウハウ - 勤務医のための提出術 - 」へ参加した。
- 8) 後期高齢者医療への対応
- 新設の後期高齢者医療制度について、眼科医療の立場からみた諸問題について検討した。

9) レセプトオンライン化への対応

レセプトオンライン化に関するマニュアルをホームページに掲出した。

## 9. 医療対策部

### 1) 医療問題適正化対策

- (1) 標記に関連する資料を収集し、常任理事会ならびに理事会で随時報告し、対策を検討し、当該協会ならびに当該企業に改善を求める意見書を提出した。
- (2) 医療問題の改善・対策について厚生労働省、日本医師会、日本眼科学会、日本コンタクトレンズ学会等と懇談をした。
- (3) 「医療法第 25 条第 1 項の規定に基づく立入検査の実施について」の通知に関して、各支部に情報提供した。
- (4) コンタクトレンズ問題に関し、問題点の把握に努め、「コンタクトレンズグランドビューー2008」を作成した。
- (5) 「コンタクトレンズによる眼障害調査」を継続的に実施した。昨年度の調査結果については「日本の眼科」第 79 巻第 8、9、11 号にそれぞれ掲載した。
- (6) 独立行政法人製品評価技術基盤機構より公表された「視力補正を目的としないカラーコンタクトレンズに関する調査結果」の概要を「日本の眼科」第 79 巻 9 号に掲載した。
- (7) コンタクトレンズによる眼障害に関するマスコミからの取材に随時対応し、協力した。
- (8) コンタクトレンズの不適正流通に対して、改善の要望をした。
- (9) 「眼鏡処方せん書き換え事例調査」を継続的に実施した。昨年度の調査結果については「日本の眼科」第 79 巻第 11 号に掲載した。
- (10) 眼鏡問題に関し、資料を収集し随時報告した。また、屈折矯正に関するワーキンググループに協力した。
- (11) 厚生労働省科学研究班「医療機器の販売等に関わる効果的リスクマネジメント手法に関する研究」における分担研究班「家庭用医療機器等のインターネット販売(コンタクトレンズ、補聴器を含む) 連鎖販売・移動販売、中古医療機器の販売等」に参画した。  
(1月17日, 2月12日, 3月19日)

### 2) 全国支部との連携

- (1) 各支部より随時情報を収集した。
- (2) 各支部に情報を提供し、支部の医療対策活動に協力した。
- (3) 各支部の医療対策担当者ならびに力を注いでいる医事問題のアンケートを各支部に実施し、結果を全国支部長会議と医療対策委員会で報告した。
- (4) 診療報酬改定後の各支部の実態調査を実施し、結果を全国支部長会議と医療対策委員会で報告した。
- (5) 医療対策委員会を開催した。
- (6) 支部ならびに会員からの問い合わせに随時対応した。

### 3) 眼科医療関連業界との協調

- (1) 関連団体(日本コンタクトレンズ協会、眼科用剤協会、日本眼科医療機器協会等)と適宜連絡を取り、情報交換をした。

- (2) 日本コンタクトレンズ協議会理事会に参加した。(7月17日、1月17日)
  - (3) 眼科用剤協議会理事会に参加した。(1月29日)
  - (4) 眼科医療機器協議会理事会に参加した。(2月26日)
  - (5) おしゃれ用カラーコンタクトレンズの取り扱いに関連した薬事法改正のための「コンタクトレンズ基準委員会」に参加した。(10月3日)
  - (6) 日本コンタクトレンズ協議会が作成するコンタクトレンズの定期検査啓発ポスターを監修した。
  - (7) 点眼薬の先発医薬品および後発医薬品について、ホームページ・メンバーズルーム内で情報を発信した。また、この問題に関連する報告を「日本の眼科」第79巻第6号に掲載した。
- 4) 非医師の医行為への対策  
標記に関連する資料を収集し、常任理事会ならびに理事会で随時報告し、対策を検討し、次年度に眼鏡に関するアンケート調査を行うことを決定した。
- 5) 改正薬事法への対応
- (1) (財)医療機器センターの「平成20年度コンタクトレンズ販売管理者講習会」で講演した。(6月19日、7月3日)
  - (2) 「医療機器・販売業等の管理者に対する継続的研修」の実施マニュアルに関する平成20年度追補版を作成し、希望する各支部へ配布した。(5月31日)
  - (3) 日本コンタクトレンズ学会と共同して「平成20年度医療機器・販売業等の管理者に対する継続的研修」を開催した。(10月26日)
  - (4) (財)医療機器センター「平成20年度コンタクトレンズ販売営業管理者講習会に係る運営委員会」に参画した。(7月17日)
  - (5) おしゃれ用カラーコンタクトレンズの高度管理医療機器の指定に関する認定基準案等作成するコンタクトレンズ基準委員会に参画した。(10月3日)
  - (6) 東海北陸厚生局と意見交換を行った。(11月13日、1月13日)
  - (7) 旧法許可品から新法クラスに移行した所謂クラスアップ品に認定基準(案)に関する認定基準委員会に使用者委員として参画した。(10月25日)
  - (8) 厚生労働省と意見交換を行った。(4月24日、7月17日、10月3日)

## 10. 勤務医部

- 1) 勤務医会員の抱える諸問題の検討
- (1) 勤務医委員会、全国勤務医連絡協議会を開催し、勤務医会員の要望およびそれに対する施策を検討した。また、勤務医メーリングリストを通じて、勤務医の諸問題に関する情報交換、意見交換を行った。
  - (2) 眼科勤務医の勤務環境に関するアンケート調査を実施し、調査報告を「日本の眼科」80巻2号に掲載した。
- 2) 勤務医(特に新入医局員)の入会促進  
機会を捉え入会を促した。
- 3) 「日本の眼科」の「勤務医の頁」の企画

「日本の眼科」79 巻 4 号～80 巻 3 号に「勤務医の頁」を掲載し、勤務医に関する情報を掲載した。

4) 座談会等の企画運営

「電子カルテ導入について」と題した座談会を行い、内容を「日本の眼科」79 巻 8 号に掲載した。

5) 勤務医師賠償責任保険の管理運営

勤務医師賠償責任保険の加入(3 月末現在 2,181 名)を推進し、同保険加入者に傷害保険、個人賠償責任保険の補償を付帯した。

6) 全国支部との連携強化

ブロックにおける勤務医委員会に助成した。

7) 全国勤務医連絡協議会の開催

全国勤務医連絡協議会を開催し、「報道と医療の関係：風間 浩（日経 BP 社 日経メディカル オンライン編集長）」の講演を聞き、各地域の状況等につき話し合いを行った。

8) 勤務医会員の福祉対策とその検討

第 62 回日本臨床眼科学会のイブニングセミナーへ参加し、「イブニングセミナー：日本の医療を変えよう！ 眼科女性医師の役割」をテーマに講演ならびに討論を行った。

9) 新眼科医数の動向の調査と検討

各支部の協力のもと、新人眼科医数の実数調査を行い、実態を把握した。

平成20年度日本眼科医会  
事業に関する監査報告書

社団法人 日本眼科医会

会長 三宅謙作 殿

平成21年4月11日

監事 鬼木信乃夫 

監事 松本進 

1. 平成20年度日本眼科医会事業報告書の内容は真実であると認める。
2. 平成20年度日本眼科医会理事の職務執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事項はないと認める。